



いわた じょうじ
岩田 譲治

質
問
QUESTION

こども園と小学校接続の カリキュラム作りを

回
答
ANSWER

新たな研究会でカリキュラム 作りに努めます

〔福祉課長〕

質
問

保育園からこども園に移行し、2カ月程が過ぎました。幼児期の教育と小学校教育への円滑な接続の重要性が求められ、

保育者と教員が互いに子どもの発達や、学びの連続性の理解を深め、教育課程の接続に向けた取り組みが大切だ」という認識で始まったこども園化です。

互いが学び方や方法の良さを取り入れて編成される「接続期のカリキュラム」を作ることが重要だと思えます。それにはまず、保育者と教員の交流がその第一歩だと思えます。実施には教育委員会が担

当部局を設置し、体制を整え、組織的・計画的に研修を重ね、資質の向上に努めなければなりません。本来の保育園は、「遊びを通して学ぶ」大切なところですが、自然環境の中で友達と上手に遊べる協調性、思いやり、最後までやり抜くがんばる心、柔軟な発想などを身につける大切な時期です。よってこども園化は小学校1年生の1年前倒しではなく、教育的活動はその一部でなければなりません。縦割り行政ではなく、横のつながりを強め、「子どもたちのために」「遊びから学ぶ保育」が重要です。

は3回実施予定

②こども園での小学校新任・中堅教員の保育体験

③保育士と教員の情報交換会

④教育支援チームと保健師による、特別配慮を要する園児への対応

⑤園児の学校での給食参観など

今後は教育委員会と連携を強め、新たな研究会を立ち上げ、活動計画の立案、能力開発など園小接続のカリキュラム作りに努めます。

町も幼児期から小学校への接続は重要と考え、次のことを実施しています。

①校長と園長の合同会議は年2回実施。今後

質
問
QUESTION

園外活動での交通事故 対策は

回
答
ANSWER

常に危機感を持ち対応 しています

〔福祉課長〕

質
問

こども園の園外活動での交通事故等の対策は。

出るので、交通事故には危機感を持ち対応しています。

回
答

幸いに当町は園庭が広く、園内保育が充実しています。しかし、春と秋の遠足、月に1回のおにぎりピクニックでは、園外へ

①5月に警察官から横断歩道の渡り方などを学ぶ交通ルール教室の開催

②園外活動の前には下見を実施し、危険場所のチェックを保育士間で情報共有

③歩道を歩くときは、保育士は車道側

④交差点では、園児を囲むよう保育士がガード体制

なお事故発生時の救急車の要請方法、連絡方法など保育士で徹底し、適切・迅速な対応を図ります。



マット運動をする園児（中央こども園）